



# 週報

2014～2015 年度 RI 会長 ゲイリー C. K. ホアン  
RI のテーマ 『ロータリーに輝きを』  
地区のテーマ 「行動 ACTION」 ガバナー 坂本元彦

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511  
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/> E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長 稲見 淳 会長エレクト 江原伸夫 副会長 坂本松男 幹事 江原伸夫

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 1041 回(6 月 2 日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長  
合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想  
第 2 副 SAA 吉松君 吉澤君  
卓話講師 元衆議院議員内閣官房副長官  
大野松茂様

#### ※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
39名	31名	78.95%	66.67%

#### 会長の時間

#### 稲見会長

大野先生、今日はようこそおいで頂きました。お話し宜しくお願い致します。

ようやく後一カ月に迫り着きました。本当になかなか最後まで慣れずに、皆様にたいした話が出来ず申し訳なかったのですが、今日を残して正式にお話するのは 2 回、後は退任の挨拶ということになると思いますので、どちらかという気分は江原年度の方に傾いており、少し楽になってきたかと思っております。

今日は、最近地震が、例えば埼玉北部を震源として、先日は小笠原を震源とした大きな地震がありました。火山もやたら噴火しているような感じが致しまして、そのことについて新聞に載っていたことを踏まえながらお話をさせていただきます。

日本列島、火山活動が活性化  
「今が普通の状態かも」

近年の噴火では、2000 年に最大で住民 1 万 6 千人が避難した有珠山（北海道）と全島が避難した三宅島（東京都）の例がある。

昨年は御嶽山（長野県、岐阜県）が噴火して多くの登山者が犠牲になった。活発な活動が続く桜島（鹿児島県）では爆発的な噴火が今年は 600 回近く起きている。いずれも噴火警戒レベルは 3 で入山が規制されている。4 月には噴火レベル未導入の蔵王山（山形県、宮城県）で地震が増えてレベ

ル 2 相当の火口周辺警報が出された。また近くでは箱根山も地震が多発している。極々最近では、5 月 29 日に鹿児島県の口永良部島の新岳で爆発的噴火が起こり黒い噴煙が一気に広がる様子を見ました。日本全体で火山活動が急に高まったように感じられる状況について、火山噴火予知連絡会長の藤井敏嗣東大名誉教授は、「20 世紀は火山噴火が少なかったが今の状況が普通の状態かも知れない」と話す。

日本は、地球の陸地面積のわずか 0.25%しか占めないが、活火山の 7%が集まる火山列島だ。江戸時代にも広範囲に火山灰が降った 1707 年の富士山の宝永噴火、火砕流や泥流で多くの犠牲者が出た。1783 年の浅間山の天明噴火などがあつた。東北まで火山灰が達した 1914 年の桜島の大正噴火のような大規模な噴火は近年にはない。

藤井さんは「これからはもっと大きな噴火が別の山で起きることを覚悟したほうがいい」と話した。政府は 5 月 29 日に昨年の御嶽山の噴火を受け、国が常時監視する火山について、火山周辺の自治体や観光事業者らに避難計画策定を義務づける火山活動対策特別措置法（活火山法）の改正案を閣議決定した。今国会で成立を目指す。気象庁は全国の 110 の火山のうち現在の 47 火山に 3 火山を加え 50 火山を監視対象にする。

改正案では 50 火山周辺の 129 市町村を国が「火山災害警戒地域」に指定、市町村に避難の場所や経路などを盛り込んだ具体的な避難計画の策定を義務づける。内閣府によると、現在 47 の火山の周辺延べ 130 市町村で避難計画を策定したのは 20 にとどまる。

私たち狭山は地盤がしっかりしていることが、一番の売りだそうです。我々にはあまり関係がないかもしれませんが、火山灰は降ってまいります。備えあって憂いなしということで今日はお話を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

## 幹事報告

### 江原幹事

- 1、国際ロータリー1012-1013 年度会長、田中作次様より「東ヶ崎潔記念ダイアログハウスに募金しようではありませんか」としてご協力をお願いについて
- 2、第 2570 地区より、国際ロータリー細則第 13 条による公表 2017-18 年度ガバナー候補者について報告 氏名 栗山昇様(67 歳) (朝霞 RC) 職業 司法書士 詳細は別紙
- 3、公益財団法人埼玉県腎・アイバンク協会より新理事長のご挨拶文について
- 4、青少年を育てる狭山市民会議第 2 回理事会報告について
- 5、次年度役員・理事のお知らせ 所沢西 RC
- 6、AAR Japan「難民をたすける会」より <真夏の夜のゆめ>へのお誘いとしてチャリティコンサート開催のご案内について
- 7、例会変更 所沢西 RC
- 8、受贈会報 所沢 RC 所沢西 RC
- 9、回覧 AAR ニュース 2015・6 月号

### 《 会員 3 分間スピーチ 》

#### 若松泰誼会員

今日は所変われば品変ると言いますが、国が変わるとかなり風習が変わるといってお話をさせていただきます。

私どもはタイ・バンコクの隣にアユタヤという所があるのですが、そこに一昨年現地法人を立ち上げました。TEA (Taisei Engineering Asian Co.,Ltd.) という会社です。

政変がバタバタとしている時だったものですから、営業資格を取るのに苦労を致しましたが、昨年 4 月に竣工式をすることになりました。ちょうど 2000 m<sup>2</sup> くらいの工場なのですが、工業団地に借りることができました。しかし工業団地は洪水が多い所ですので、40~50 社が一角にまとめられ、賃貸の工場ですので、周りを万里の長城のような 2m の塀で覆われ、水の入らないような仕組みになっております。しかし実際出たらあちこちから溢れるのではないかと思います。

竣工式を行うということで、私は日本式に軽く行おうと思っておりましたら、取引先のホンダさんからタイのやり方を聞きまして、私もタイの従業員に聞きまして、やはりやらないと後で何か起きた時にいけないからとアドバイスをされました。

タイは日本と同じ仏教国で、日本以上にもの凄くお坊さん等の地位が高いのです。そしてお坊さんと呼ぶことになりました。日本ですと 1~2 人呼ぶのですが、タイは祝い事では 9 人呼ぶそうです。不幸の時には 8 人呼ぶそうですが、祝い事は 9 人



ということで、高僧から若い僧まで順番に並びます。一番高僧が上に座り、そしてお坊さんたちは座布団に座ります。そして我々はどうするかといいますと、一番偉い高僧の前に、現地の社長が座り、その次にグループの会長であります私が座ります。そして会社の順番通りに並んでいくわけですが、お坊さんは座布団に胡坐をかいて座られますが、我々が座る所はコンクリートの上の莫塵なのです。ここに座り方は、基本的には女座りです。この座り方、実はできません。やってみただけでバランスを崩し、なかなか上手く座れませんでした。そうしましたら跪けということで、コンクリートの上で延々と、そこから約 1 時間近くお経をあげていくのですが、そんなに長いことやったことがないので、10 分もすると血が変な感じになってきて、それでも我慢しないとイケないのだろうと高僧をじっと見ていましたら、胡坐をかいて良いという助け舟が出て、ほっと致しました。日本とタイの竣工式の催しはこんなに違いました。そして一人一人にインドでよくやるおまじないの赤い印をつけてくれて、会社の正門の入り口のガラスにも、何事も起きないようにと付けて頂きました。

工業団地の中には、仏舎利が大きい小さいは別として必ず建っております。そこへ全員で暑いさなかに歩いて行き、お参りをするといったような、結構厳かな、神聖な気持ちでタイの竣工式を終わらせて頂きました。そして各担当一人一人に、お供え物を致します。お金はあちらのお金にしてみればそこそこの金額ですが、そんなに多くはありません。そして一人ずつに頭を下げられ、あとは黙々と念仏を聞き、痺れを切らせて、やっと立ち上がり、お礼をするといった会でした。

### 「外来卓話」・・・・・・・・・・

#### 《講師紹介》

#### 坂本松男会員

本日の卓話の講師、大野先生につきましては、私が御紹介するまでもなく、皆様の方がよくご存知だと思いますが、改めて簡単にご紹介をさせていただきます。

1919 年 4 月の埼玉県議会選挙で初当選を成され、県議会委員 2 期、狭山市長 2 期、1996 年 10 月の第 41 回衆議院選挙に初当選を成され、4 期連続の当選を成されました。

第一次安倍内閣におかれましては、内閣官房副長官として財務を担当され、また福田内閣においても内閣官房副長官を再任されました。数々のご功績を残され、2009 年 11 月に旭日重光章を受章、同じく 2009 年 11 月に狭山名誉市民に選ばれました。現在は武蔵野学院大学の客員教授を始め、数々のお役を持っておられます。

先日 4 月 28 日に高麗神社の宮司さんに卓話に来て頂きました。その時に皆さんパンフレットを頂



いたと思いますが、大野先生は社団法人の高麗1300年記念事業の理事長も務められています。そして昨日2時頃、町村前衆議院議長がお亡くなりになりましたけれども、大野先生は第一次安倍内閣の時に町村さんが外務大臣、福田内閣の時に官房長官、その副官房長官をお務めになりました。同じく清和研究会の所属でございますので、急に町村先生が亡くなられたとの事、旧知の間柄でございます。忙しい中、今日こうして卓話は外せないということでお越し頂いておりますので、皆さん30分間宜しくご静聴賜われれば有り難いと思います。

## 『政治と政府専用機について』

元衆議院議員

内閣官房副長官 大野 松 茂 様



皆様こんにちは。いつも皆様方に大変お世話になっております上に、今日は狭山中央ロータリークラブの稲見会長様始め、皆様方にご案内頂いて、貴重なお時間の中で話をさせて頂く機会を頂きましたことに、まず厚く御礼を申し上げます。そして狭山中央ロータリークラブの皆様方には日頃から狭山市発展のために幅広い見地でご尽力頂いております、市政60周年を迎えた狭山市にとりましても、皆様方のご貢献は極めて貴重でございます。心から感謝、また敬意を申し上げる次第でございます。

先般は私も大変親しくご指導頂いておりました寶積先生がお亡くなりになりまして、大変心を痛めているところでございます。心から、皆様と一緒にご冥福をお祈りさせていただきます。そして今お話がございましたように、先般高麗神社の宮司から、高麗郡の歴史についてお話をさせて頂く機会を頂きましたようで、皆様方の御心配りに感謝を申し上げますと同時に、この事業を成功させるために皆様方の格段のご理解とご支援、そしてまたご協力を賜ることができれば有り難いと思っております。くれぐれも宜しくお願い申し上げます。今日は、坂本さんから政府専用機のお話をしたいということでお話頂きました。何をお話した

ら良いかと思いながらも、お役に立てれば良いと思っておりますので、宜しくお願い致します。

皆様のお手元に簡単なレジュメをお配り致しておりますが、ここに政府専用機の写真と、ちょっとしたコメントが載っております。これは実は内閣官房が出している資料の一部でございます、ご覧頂ければ有り難いと思っております。

政府専用機そのものは、天皇皇后両陛下、内閣総理大臣の専用機となっているものですから、その運用につきましては、大変な縛りもあるわけでございます。そんな中で、今政府専用機を使って、外交の面でも大きな機能を果たしているわけですが、ちょうど私が内閣官房副長官をさせて頂いておりました時代に、この政府専用機を使いまして、総理と一緒に外遊の機会がございました。私にとりましてと海外へは4回ございまして、本来これは海外へ向けて使う飛行機なのですが、国内で使うこともございました。洞爺湖サミットの時に羽田から札幌までこの専用機を使いまして、以前に沖縄サミットの時に森総理が使ったことがございますが、大方海外が主要機でございます。加えて、緊急事態があった場合にはこの飛行機の内部を入れ替えまして、難民を避難させるために、或いはまた資材を運ぶために使うことも出来るようになっております。中にある設備は3時間で綺麗に片付けることができるようでございまして、中に入りますと立派な客室でございますが、そのような機能を果たしております。

政府専用機に乗せて頂きますと、総理並びに総理夫人がタラップを上っていくとき、或いはタラップを降りてくるときに、副長官が随行することになっておりますので、写真に写る機会が多いのですが、そう言って恰好の良いことばかりではございません。随行するという事の中では計り知れない苦労が実はあるわけでございます。

この組織そのものは、航空自衛隊が運用しておりまして、この飛行機の搭乗員になっておりますのは、全員航空自衛隊の職員でございます。操縦から客室のサービスまで、全て航空自衛隊の制服を着ておりまして、私共にお茶をサービスする職員も女性の職員でございますが、三尉位の階級を持っている偉い方でございます。

これは私どもが行ったときに、航空自衛隊がサービスマップで作ってくれるものなのですが、私どもがもらったものが4回そのまま残っておりましたので、皆様にご覧頂ければ有り難いと思っております。この航空自衛隊は識別機としてJAF001と002の2つの機を持っております。JAFというのは、航空自衛隊のことでございます。このような様式もこの飛行機には載っているわけですが、そうした役割を持ちながら、私の行った4回のことについても載っておりますので、ご覧頂ければ有り難いと思っております。

パスポートは一般の旅券と合わせて、国会議員は

公用旅券を使い、海外に出かけるわけでございます。国会議員は海外に出かけるときには必ず申告をしなければなりませんので、公用旅券を持って行動するということになります。中を見ますと、どこへ行ったかということが全て残っているわけです。

私が副長官で参りますその前には、総務の副大臣をやったのですが、総務の副大臣のパスポートは外交旅券というものでございます。これにも何処へ行ったかということが全て書いてございます。そして内閣官房副長官で出ました旅券は、羽田を出たときと羽田に帰って来たことしか書いてありません。

私が総理と随行致しましたのは、就任して間もなく、安倍総理とオーストラリアへAPEC首脳会議のために随行致しました。これは歴史に残る事なのですが、私と一緒に9月7日~9月10日までオーストラリアに行きました。その時に、勿論随行致しますと、一つずつのスケジュールが終了するとそのまま記者に対して記者会見を致します。記者会見をする時に記者からしつこい質問がでるのですが、差し障りのないように、事が起こってはいけませんので、出来るだけ冷静に記者会見をするのですが、安倍総理の会見の中で、記者から質問が出ました。その時、海上自衛隊がインド洋への給油活動をしておりましたが、そのためにちょうど国会で新しい法律を出すところだったので。当時の民主党は非常に抵抗を致しまして、今やっていることの継続の法律を出すのですが、非常に厳しいものでした。そうしましたら安倍総理は、もしも継続の法案を通してもらえないのだったら、私は辞めることまで決意をしていると仰ったのです。

これは重大な事として、これはその後の副長官の記者会見で集中されまして、大変苦勞した答弁をしたことがございましたが、今になってみると、一緒にいても少し体調がおかしかったのかと思います。10日までおりまして帰ってきましたが、朝東京に着き、その日の午後1時から総理の所信表明演説を致しました。そして国会で所信表明演説を致しますと、翌日から代表質問が始まります。そうしましたら9月12日に総理が退陣表明を致します。健康上の理由だということでもございましたが、これは全く、副長官にも知らされておらず、突然健康上のことで辞職をするという表明をされたわけでもございます。私は7日~10日まで一緒しており、安倍総理は奥様も一緒でもございましたが、そんなに健康を害しているというところがわかりませんでした。それは副長官としては重大なことでもございまして、大変申し訳ないことだと思っておりました。

この時は、アメリカ、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、韓国、こうした首脳とのAPECの会合でもございましたものから、例えばブッシュ大統領と総理との会談がございまして、この

会談をするときには、両首脳が向かい合って椅子に座り会談を致します。私は安倍総理のすぐ隣に座り、議論のやりとりを見守っておりました。そのまま陪席としての責任で記者会見をするということになっておりますので、他のそれぞれの首脳会談にも同行致しましたけれども、今でも思い出しますのは、安倍総理の一連の日取りでもございました。

福田総理になりましてからは、平成19年12月でもございましたが、中国との首脳会談がございました。中国とは必ずしもじっくりいかないことがたくさんあったのですが、当時の胡錦濤国家主席、そして温家宝首相との首脳会談でもございますが、非常に友好的で、ごく和やかな首脳会談ができました。その中で特にガス田の開発という問題が、東シナ海にありましたものですから、このことについて両国がなんとか軌道修正をしようということで、両方の大変な歩み寄りがありました。そして今までの首脳会談は張っていた海の氷を砕くような時であったけれども、これからはこの氷が溶けるような会談にしたいということで、福田総理は、梅の花が咲くまでには氷もすっかり溶けるはずだと、このように和やかな対談でもございました。しかも温家宝首相と会談をするときには、これも全く予定はしていなかったのですが、いきなり野球のユニフォームをきて温家宝さんが出てまいりまして、福田総理の分のユニフォームも用意してありますとのこと、きちんと背中には福田のネームまで入っているユニフォームで、2人で中南海という中国の高官が住む一帯でもございますが、そのこの体育館でキャッチボールを始めました。これは日本のマスコミばかりではなく、世界のマスコミも報道をし、そんな雰囲気でも良かったということもありました。

その後は福田総理の韓国訪問でもございます。これは李明博大統領が就任した、そのことに対するお祝いの首脳会談でもございました。これも今では想像もできないような、本当に和やかなもので、これから新しい日韓関係が始まるのだと、私どもも安心をして終わった首脳会談でもございました。

それから後、洞爺湖サミットが予定されたものですから、その根回しをする意味で、福田総理と一緒にドイツ、イギリス、イタリアそれぞれの首脳訪問を致しました。これはそれぞれドイツのメルケル首相であったり、イギリスのブレア首相であったり、イタリアのベルルスコーニ首相、こうした方と本当に和やかな会談がありまして、冗談が飛び交うようなものでありました。

日本もそうなのですが、日本の総理がそれぞれの国へ行くと、飛行機を降りますとだいたい赤絨毯のタラップを降り、地面の上でずっと敷き詰められている絨毯に行くわけですが、だいたい儀仗隊がついておりまして、国歌演奏で儀仗兵の前を通ると非常に厳粛な儀式が始まります。これでその国に着いたということになるわけですが、こ

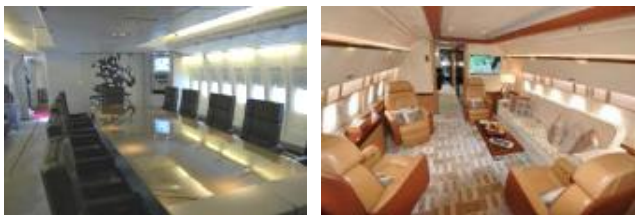
の4つの会合そのものに、未だに大変忘れられない貴重な思い出がございます。そしてこのような首脳会談をしていく上で極めて大切な役割をしているのが、この政府専用機でございます。



レジュメの中にも政府専用機についての概略がございますが、これはボーイング747というハイテクのジャンボでございます。この政府専用機というものは、国によると3機持っているのですが、日本は2機しか持っていません。本来機能するためには3機必要なのですが、日本の場合には財務省から財源が認められず、2機で今までずっと運用しております。

この飛行機そのものは、1機目が主務機、2機目が副務機と申しまして、補助をする飛行機です。海外に出かける時になりますと、政府専用機は2機一緒に飛んでいきます。2機一緒に申しまして、主務機が先に飛び、30分の時間の経過をもって次の飛行機が飛び、これがずっとそのまま現地まで行きます。これがどういう意味かと言いますと、もしそれぞれの飛行機に故障等があった場合、すぐに飛行機を変えることができます。そのため主務機と副務機は30分の時間差を持って目的地に向かっているということでございます。

よく皆様からどのような飛行機なのだと聞かれるのですが、飛行機の中はジャンボですので2階建てで、2階は運航していく上での航空自衛隊の運用員、パイロットや機関士の全員で使っております。ここにだいたい25席のシートがございますが、一杯になっているはずでございます。1階は前から貴賓室になっておりまして、総理、奥様の部屋がございます。そして会議室や給湯室のスペースがございます。



貴賓席の次に副長官席というものがございまして、副長官にもベッドや休憩できるスペース、会議室、或いはまた事務を執る部屋が用意されております。その後が続いて秘書官室があり、会議室、事務室、

随行員の席があって、そして一般用の部屋がございます。これに加えて記者会見室もついておりますが、この飛行機全体で、150人が乗れる施設になっております。

一般席が89あるのですが、これはほとんど同行記者団が使うシートになっておりまして、それぞれ総理が行かれるということになりますと、報道記者、ライターもカメラマンもおりますし、或いは解説員が乗って行ったり致します。政府の職員もだいたい随行していく職員は、それぞれ担当の局長から始まって、首脳会談に相応しい、必要な人物が乗るのですが、それがだいたい50名くらいいるものですから、飛行機の中は一杯でございます。

この一般の方からは、実はお金を貰っております。政府の職員は国が払うわけですから負担がありませんが、記者の人たちには通常で、日本の飛行機に匹敵するようなお金を貰うということになっております。そしてこうした装置を持っている飛行機ですが、それはお配りした資料に載っております通り、航空自衛隊の航空支援集団「特別航空輸送隊」という名前の職を持った航空自衛隊の隊員が運用するわけでございます。この2つの政府専用機は、常時は北海道の千歳の飛行場に待機しておりまして、事があった時には運用するという役割を持っております。

こうした機能をもった飛行機なのですが、ついこの間、天皇皇后両陛下がパラオにご訪問になりました。戦跡をお尋ね頂いて、そしてたくさんの戦死なされた皆さんがあったのですが、それを弔って頂きました。政府専用機ですので当然天皇皇后両陛下がお乗りになるのが普通でございますが、実はパラオの飛行場の滑走路が短いために、この政府専用機が使えなかったのです。

このようなことをして、今日まで政府専用機は役割を果たして参りました。平成5年に初飛行をしております、初フライトをしたのは当時の宮澤総理大臣でございます。平成5年4月に初フライトを致しまして、天皇皇后両陛下は平成5年9月にヨーロッパへご訪問されております。以下は順調に運用しておりますが、飛行機そのものが古くなってきているものですから、平成31年には新しい飛行機に交代をするということになっております。最近では省エネの飛行機も増えているものですから、同じようにボーイングの飛行機「ボーイング777」の導入を予定しております。

今日まで色々な政府専用機の役割があるわけですが、この役割の中で益々この首脳外交というのが極めて大事でありますので、いっそうこの政府専用機というものの役割を与えて頂ければ良いと思います。

今日まで、正に安全で、事故の無い飛行機でございます。しかしそれはまた国民の皆様方の温かい思いでございます。いざ災害があった時にはこの飛行機も発揮させる機能を持っており、そのため今まで色々な支援に使われております。



政府専用機についてということでお話をさせて頂きましたが、首脳会談等の関連もお話させて頂きました。今後とも狭山中央ロータリーの益々のご発展と、そのことを通じて狭山市の発展のために更にお力を頂きますようお願いを申し上げて、終わりとさせて頂きます。ありがとうございました。

## ニコニコボックス

大野松茂様 今日ではよろしくお願ひ致します。

稲見君 元内閣官房副長官・大野松茂先生、狭山中央ロータリークラブによろこおいで頂きました。お話し楽しみです。3分間スピーチの若松パスト会長よろしくお願ひ致します。

江原君 元衆議院議員・元内閣官房副長官 大野松茂様お忙しい中よろこお出で下さいました。本日の卓話しみにしてました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。若松パスト会長、本日の3分間スピーチよろしくお願ひ致します。

古谷君 仕事が忙しく長い間欠席し、申し訳ありませんでした。

小澤君 大野様、内閣府の中樞で経験されたお話しみにしてあります。

坂本君 元内閣官房副長官・元衆議院議員 大野松茂様、卓話しよろしくお願ひ致します。3分間スピーチの若松パスト会長よろしくお願ひ致します。

会員誕生祝 小島君 守屋君 清水君

夫人誕生祝 古谷君 片山君

結婚記念日 小澤君

2014～2015 年度 ニコニコ累計額	2,713,000 円
-------------------------	-------------

※ 次の例会

第2副SAA 東君 古谷君

6月16日(火) 12:30～13:30

パスト会長の卓話し 栗原憲司パスト会長